

月日 (校時)	単元名	教材名
11月7日(水) 3校時	まとまりに分けて、 お話を書こう	かたかなで書くことば
本時のねらい(1/2時間目) ○片仮名で書く言葉の種類を知り、片仮名を正しく用いることができる。		
評価規準 関片仮名で書く言葉に興味をもち、片仮名で表す言葉をすすんで集めようとしている。(発言・ノート) 言片仮名で書く言葉の種類を理解し、片仮名を正しく使っている。(発言・ノート)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
【導入】 10:35	○片仮名で書くべき言葉を平仮名で書いている文を挙げ、読みやすくするためにどうすれば良いか尋ねる。 ・片仮名に直したらいいと思います。	○ペアでぶつぶつタイム
【展開】 課題把握 10:38  ・シラバス ・言語わざ ・見通し  自力解決 10:52 班学習 10:56  集団解決 ・全体 11:02  ・考察  まとめ 11:12	1 課題を把握する。 ○片仮名で書く言葉は種類分けできることを想起させ、課題を提示する。 かがたかなで書くことばを分けて、しゅるいごとにあつめよう。  自力(4分)、班(6分)・全体(10分)・まとめ(3分)・振り返り(5分) 「友だちのいけんとなつなげてはつげんする」 ○1学期に取り組んだ「ことばのきまり」や、夏休み課題を思い出しましょう。どんな種類の言葉があったでしょうか。 ・ガラスが割れる音などの、ものの音がありました。 ・外国から来た言葉もあったと思います。  2 片仮名の言葉を集める。 ○まずは自分でノートに書き、その後班で意見を出し合いながら、種類ごとに分けましょう。 ・チョークやバケツなど、教室の中からも色々見つけられます。 ・ALTの先生の名前も片仮名で書いています。  3 班でまとめた意見を出し合う。 ○気付いたことを話し合しましょう。 ・自分たちの周りにたくさん片仮名の言葉があると分かりました。 ・どの班も4種類に分けられていると思います。  ○片仮名で書く言葉は、どのような種類に分けられるでしょうか。 ①どうぶつのなき声      ②いろいろなものの音 ③外国から来たことば      ④外国の、国・土地・人の名前  4 本時のまとめをする。 かがたかなで書くことばを分けると、①どうぶつのなき声②いろいろなものの音③外国から来たことば④外国の、国・土地・人の名前に分けられます。	キーワード 「かたかな」「外国から来たことば」 「どうぶつのなき声」「いろいろなものの音」「外国の、国・土地・人の名前」  ○グーパーチェックを行い、考えを書きづらい児童には、書いている児童のワークシートを見に行くよう促す。 関片仮名で書く言葉に興味をもち、片仮名で表す言葉をすすんで集めようとしている。(発言・ノート) 言片仮名で書く言葉の種類を理解し、片仮名を正しく使っている。(発言・ノート) ○4種類が出ない場合は教科書のP.34を読み、全員が確かめられるようにする。
【終末】 ふりかえり 11:15	5 本時の振り返りをする。 次時では片仮名の言葉を使って文を書くことを予告する。	○振り返りの視点「友達の意見を聞いて考えたこと」とし、振り返りをしやすくする。